

(様式3)

平成28年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	伊勢市ひまわり	所在地	伊勢市八日市場町13-1
指定管理者名	社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会	指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日
設置目的	市民の福祉、健康、世代交流・地域交流等の活動の拠点施設として、社会福祉活動の輪を広げるため		
業務内容	就労継続支援B型事業の一切に関すること 就労継続支援B型を行う事業については、生活指導及び作業指導を行い、利用者の社会的自立、生活意欲の向上を図るように支援すること。また、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者及び家族の立場に立ったサービスを提供すること。		
施設概要	本棟 昭和63年3月完成(開館は昭和63年4月) 敷地面積6,015㎡(駐車場、緑地等含む)、建築面積(延床面積)4617.01㎡(うち本棟4407.58㎡) 本棟 鉄骨鉄筋コンクリート造4階建て 本棟 1階(1718.75㎡) 総合事務室、相談室、ボランティア室、社会適応訓練室、日常生活訓練室、調理実習室、伊勢市ひまわり、和室、個別指導室 等		
職員体制	管理者 兼 サービス管理責任者 常勤 1名 職業指導員 常勤 1名 生活支援員 常勤 1名、非常勤 1名 目標工賃達成指導員 常勤 1名		
施設所管課名	高齢・障がい福祉課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	比較(C-B)
事業 収支	収入				
	指定管理料	7,007,000	6,986,000	1,707,000	△ 5,279,000
	利用料金	19,477,230	18,899,010	22,976,040	4,077,030
	その他	1,189,263	1,378,290	1,334,486	△ 43,804
	計(a)	27,673,493	27,263,300	26,017,526	△ 1,245,774
	支出				
	人件費	14,558,002	14,693,633	14,996,794	303,161
	管理運営費	3,158,298	3,361,091	3,844,925	483,834
	その他	890,519	771,000	29,626,496	28,855,496
	計(b)	18,606,819	18,825,724	48,468,215	29,642,491
収支差引額(a)-(b)	9,066,674	8,437,576	△ 22,450,689	△ 30,888,265	

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	利用延べ人数の増加に伴い利用料金収入増となった。拠点区分間繰入金の支出があった。
----------------------------------	--

3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
障害者計画相談支援事業所との連携により、利用者2名の増員となり、一日平均利用者が昨年度より増加した。 地域住民との交流も積極的に行い、伊勢まつりやお伊勢さんマラソン等数多くのイベントブースに出店することができた。 工賃向上計画に沿い、利用者の時給を10円アップすることが出来た。 満足度調査を行い、利用者ニーズに沿った事業の展開ができた。	施設の管理については適正に行われており、平成28年度は前年より利用者増加となっており、評価できる。 地域住民等との交流を積極的に行っていること、イベントに出店しPR活動を行っていることについても評価できる。 なお、平均工賃については、今後も更なる工賃向上に努めること。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	施設の目的・基本方針を理解し管理を実施した。	A	施設の設置目的や基本方針を理解しサービスを提供していたと思われる。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	管理運営を通じ「障がい者の就労、生活交流場所の提供」に資することが出来た。	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成できたと思われる。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	A	利用延べ人数が昨年度から131人増になり目標を達成した。	A	利用者増となり目標を達成した。
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	事業計画書の通り供用日数・時間を達し、適切な運営が出来た。	A	事業計画書に計画された運営が行われ、適正な施設運営と思われる。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	作業責任者・業務担当者を明確にし適切な配置と勤務実績を行えた。	A	職員の配置状況・勤務実績は適正であったと思われる。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	B	定期的に月報等による報告を行った。	B	毎月の実績報告は適切に行われていたが、管理者による市への連絡・報告等、必要に応じた連絡調整が望まれる。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	B	各種管理記録の整備・保管を適正に行うことが出来た。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がなされており、月報・年報にて報告がされていた。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	A	伊勢市ふれあい交流会やまちづくり協議会等のイベントへ出店に参加し地域住民との交流を図った。	A	地域交流を積極的に実施していた。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。		貸館は実施していないため評価できず。	-	
	⑩利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	各種帳簿は漏れなく作成を行った。	A	適正に行われていた。
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	取扱いについては慎重にし、担当者が月に1度チェックを行った。	A	個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、適切に行われていたと思われる。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	障がい者総合支援法や障がい者差別解消法など各法令への講習会への参加とミーティングを通し理解し、遵守した。	A	法令違反は見受けられなかった。
サービス	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	利用者数の増加や利便性を高めるための具体的な取り組みが行なわれていたか。	A	計画相談事業所と連絡調整を行い2名増となった。	A	平成28年度は前年度と比べて利用者数が増加しており具体的な取り組みが行われている。
	②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行なったか。	A	利用者帰宅後打合せと反省会の中、情報共有を密にしサービス水準の確保を図った。	A	サービス水準については、期待される水準にあった。
	③適切な情報提供	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行なったか。	A	毎月予定表を配布し情報提供を行った。	A	毎月予定表を発行し、利用者及び家族への情報提供を行っていた。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
サービスの向上	④非常時・緊急時の対応	緊急時のマニュアルが整備され、従業員訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	A	緊急時のマニュアル整備のもと緊急招集訓練を実施した。	A	緊急時を想定したマニュアル整備、避難訓練を実施するなど、適切に行われていた。
	⑤苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	利用者・保護者からの意見苦情等については、適切に対処した。	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたと思われる。
	⑥自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	工賃を10円上げることが出来た。	A	利用者ニーズに即した自主事業が行われており、工賃についても向上した。
	⑦事業の評価	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	事業報告書作成や満足度調査を実施し反省・提案・見直しを行った	A	見直し等は行っているが、それをどこまで次年度に反映させるかが課題と思われる。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	建物・設備・植栽等が適切に管理され、安全性の確保、良好な機能及び美観の保持がされていたか。	A	月に1度の安全点検と定期的な機能確認・美観確認を行った。	A	毎月安全点検等適切に行い、月報にて報告されていた。
	②備品等の管理	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	A	備品については破損・紛失等がなかった。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。
	③修繕業務	点検のよって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	定期点検により修繕箇所が見つかった時には早急に必要対応を行い、記録した	A	毎月点検を行い、月報により適切に報告されていた。
	④清掃業務	清掃は適切に行なわれていたか。	A	清掃業者による定期清掃と必要に応じ職員で清掃を行った。	A	清掃は適切に行なわれていた。
	⑤防犯体制	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵は所定場所への持ち出し、保管をし、退所時の戸締りは数人で確認した。	A	防犯に関する問題はなく、鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切であった。

〈各項目ごとの判定〉

判定	評価基準
A	協定書・仕様書・事業計画書に定める内容を忠実に履行、又は水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
B	概ね、協定書・仕様書・事業計画書に基づいて運営がなされているが、一部に改善の必要性が認められる。
C	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、早急な改善が必要である。